

(令和5年度4月)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	1	子どもの個性・特性にあわせて、指導訓練室等が確保できているように、ご意見を参考しながら検討・調整していきたいと考えております。
	2	職員の配置数は適切であるか		6	職員配置をより手厚くしていく予定です。配置数だけでなく、子ども達・保護者さまのご意見を参考にしながら、よりよい療育を提供していきけるように一步一步積み上げていきたいと考えております。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	3	3	経年変化によりセラピーマットが痛んできております。今年度は、購入整備したいと考えております。子ども達の個性・特性を踏まえながら、よりよい生活空間を模索していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	2	4	活動スペースは、毎日拭き掃除と消毒をおこない、整理整頓ししやすい空間になるように努めております。今後も、子ども達の個性・特性を踏まえながら、よりよい生活空間になるように整えていきたいと考えております。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3	3	毎朝礼後に、業務打ち合わせをおこなっております。改善すべき事項が生じた場合は、関係職員だけでなく、全職員で話し合う機会を設け、多角的に検討・調整を行っていききたいと考えております。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		6	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		6	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	4	第三者による外部評価は行っていません。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	3	職員の資質向上のために、外部研修への参加や内部研修を行っております。感染症状況をみながら、より様々な研修に参加し自己研鑽できるように調整していきます。
適	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか		6	個々にアセスメントをおこない、その情報を参考にガイドラインに則り支援計画を作成しております。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		6	標準化されたアセスメントツールは使用していないが、個人個人に対しての評価をしています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	3	3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容について、利用していただく子ども達・保護者や地域の現状・ニーズを踏まえながら、より具体的な支援が提供できるようにスタッフ間で協議していきたい。

切 な 支 援 の 提 供	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	3	こども達の個性・特性にあわせて、活動プログラムを検討・調整していきます。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	4	2	こども達の個性・特性にあわせて、個別活動・集団活動プログラムを調整しよりよい児童発達支援計画を作成していきます。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	1	日常的に行っています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	2	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6		毎日個別の記録を作成し、状態の把握、今後の対応へつなげています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6		定期的にモニタリングを行っています。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6		児童発達支援管理責任者や現場で深く関わっている職員も会議に参加しています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	3	3	必要に応じて関係機関と情報交換や協力をし連携していくよう努めます。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	4	2	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	6		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	2	感染症の状況をみながら、機会を作れるように努めます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	5	以前は、行事を通じて交流を行っていました。感染症の状況をみながら、機会を作れるように努めます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	1	5	佐賀中部には、残念ながら子ども部会がありません。情報交換会や子育て会に参加するよに努めます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6		状況については、登降園の際に日々共有させて頂いています

	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	2	4	佐賀整肢学園こども発達医療センターとして、ペアレント・トレーニングをおこなっています。その視点を生かしながら、保護者サポートに努めたいと思います。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6		
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6		随時、相談に応じ必要に応じて電話や面談にて対応しています。苦情受付窓口の案内は契約時、重要事項説明書にて保護者様に説明を行っています意見箱の設置も設けています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6		毎月のおたよりにて、行事予定や連絡事項等の情報を発信しています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	6		個人情報の管理については十分な注意を払っております。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	3	佐賀整肢学園こども発達医療センターとして、地域公開講座をおこない地域に開かれた施設になれるように努めております。
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6	
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6		定期的に避難訓練を実施しています。
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	6		アセスメント時に確認しています。
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6		アセスメント時に確認し対応しています。
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6		ヒヤリハットの報告書作成、情報共有、予防に努めています。
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6		内部研修に参加しています。
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	6		生活上必要な身体拘束（車いすのベルト等）について同意をもらっています。